

起きよと呼ぶ声 BWV140

1. 起きよと呼ぶ声 コラール合唱 コラールメロディ

起きよと呼ぶ声 見張りの塔から
夜は更けゆきて 高らかに呼びかける
賢い乙女たちよ 花婿来たる
ともしび手に ハレルヤ
備えせよ 婚礼の席を備えよ
花婿を迎えよお。

合唱

起きよと呼ぶ声 見張りの塔から
起きよ 起きよ エルサレムの町よ
夜は更けゆきて 高らかに呼びかける
どこ どこ 賢い乙女たち どこに
いそげいそげ 花婿きたる いそげ
立ち上がれ ともしび手に ハレルヤ
備えせよ 婚礼の席を備えよ
花婿を迎えよお

2. 彼は来ます 聖書朗唱 テノール
彼は来ます。花婿来ます。(マタイ 25:6)
シオンの娘たちよおいで。(雅歌 3:11a)
彼は天より下り(ルカ 1:78)
母の家に 花婿来ます。(雅歌 8:2)
丘を飛びこえてくる男鹿のように(雅歌 2:8)
婚礼の食事を開く。
起きよ目覚めよ 花婿を迎えよう。
そこに彼は来ておられる。

3. いつ来られる 二重唱アリア ソプラノ・バス
ソプラノ
いつ来られるわが救い ともしび手に待つ。(マタイ 25:4)
み国の食事を開き、来ませイエスよ。
わが救い主よ、いつ来ます、
わたしはともしび手に待ちます。
バス
わたしはあなたの元に行こう。(詩編 16:5)
扉を開き、み国の食事に行こう。来たれ愛する者よ

4. 見張りの声が コラール テノール
見張りの声が聞こえてくる
人みなどよめきたつ
友は天より 恵みとまことをもて 闇を照らしたもう。
今こそ来ませ 神の子イエス ハレルヤ
われらはたたえて食卓を囲まん。

5. 私の花嫁に選ばれた人よ 聖書朗唱 バス
私の花嫁に選ばれた人よ
あなたと永遠の契りを結ぶ。(ホセア 2:19)
あなたと私の胸にしるしとして刻もう。(雅歌 8:6)
悲しむ瞳をいやそう。
魂よ 耐え忍んできたことをいまこそ忘れるがよい

わたしのもとで憩え 口づけを交そう。

6. 恋しい人 二重唱アリア ソプラノ・バス
魂:ソプラノ
恋しい人 わたしはあなたのもの (雅歌 2:16)
その愛はだれも引き裂かれない
わたしはあなたのもの あなたと共に
天のバラ園でわたしと共に憩いたいのです。
そこには喜びが満ちあふれ さちに満ちている。
イエス:バス
わたしは彼のもの その愛は引き裂かれない
あなたはわたしのもの
あなたと共に 天のバラ園で憩いたいのです。
そこには喜びが満ちあふれ さちに満ちている。
(詩編 16:11、イザヤ 35:10)

7. 主に栄光をたたえ コラール 合唱
主に栄光をたたえ 琴の音うるわしく
高らかに歌わん。
12の門は飾られ 町は仲間たちであふれ
み使いと歌わん。
いまだ聞かず見たこともない ハレルヤ
このさち覚えてとわに讚美しよう。

解説

初演 1731年 聖霊降臨第27主日

聖書

マタイ 25:1-13 (花婿を迎える10人の乙女)
テサロニケ第1 5:1-11(盗人が夜やってくるように主の日は来る)

聖霊降臨後第27番目の日曜日は、復活祭が3月26日以前に繰り上がった年にだけ生じる。バッハのトマス教会カントル在職中には1704年、1731年、1742年にしか来なかった。このカンタータの特徴が敬虔主義的傾向であることから、作品の成立年は1731年と判断される。(「バッハ カンタータ」ヘルムート・リリンク編、井形ちづる)

トマス教会音楽監督に就任して初めて経験した聖霊降臨後第27主日のおかげでバッハは本カンタータに力をいれ、彼のカンタータ年鑑は完全なものになった。

敬虔主義的特徴とはマタイ25:1-13の花婿を迎える10人の乙女のたとえ話のなかで、イエスと敬虔な魂(深夜に備えて呼びの灯油を準備していた賢い乙女)との関係としてとらえているところにみられる。それをコラールであらわし1、4、7曲に配置してコラール編曲としている。バッハの確固とした立場が表明されている。